# テンプレートエンジンで HTMLを効率よく作成しよう

株式会社 FORK 高橋 学

#### 自己紹介

高橋 学 (たかはし まなぶ)

株式会社FORK 第1プロデュースユニット所属

フロントエンドエンジニア

2008年 FlashエンジニアとしてFork入社

最近は人材の育成やプロジェクトの管理・大規模案件の設計 などを担当しています。

#### FORKについて



渋谷にあるWeb制作会社 150名規模

LPI-Japan HTML5 アカデミック認定校

HTML5プロフェッショナル認定試験合格者

・レベル1:38名

・レベル2:5名

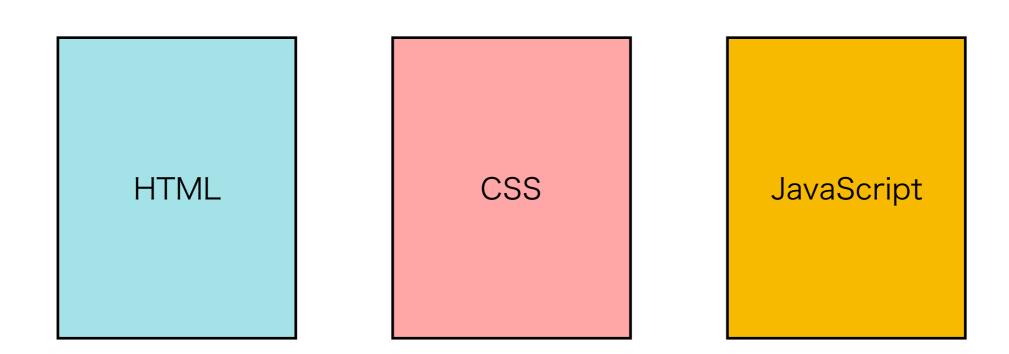
研究開発サイト

<u>4009.jp</u>

## 最近のフロントエンド

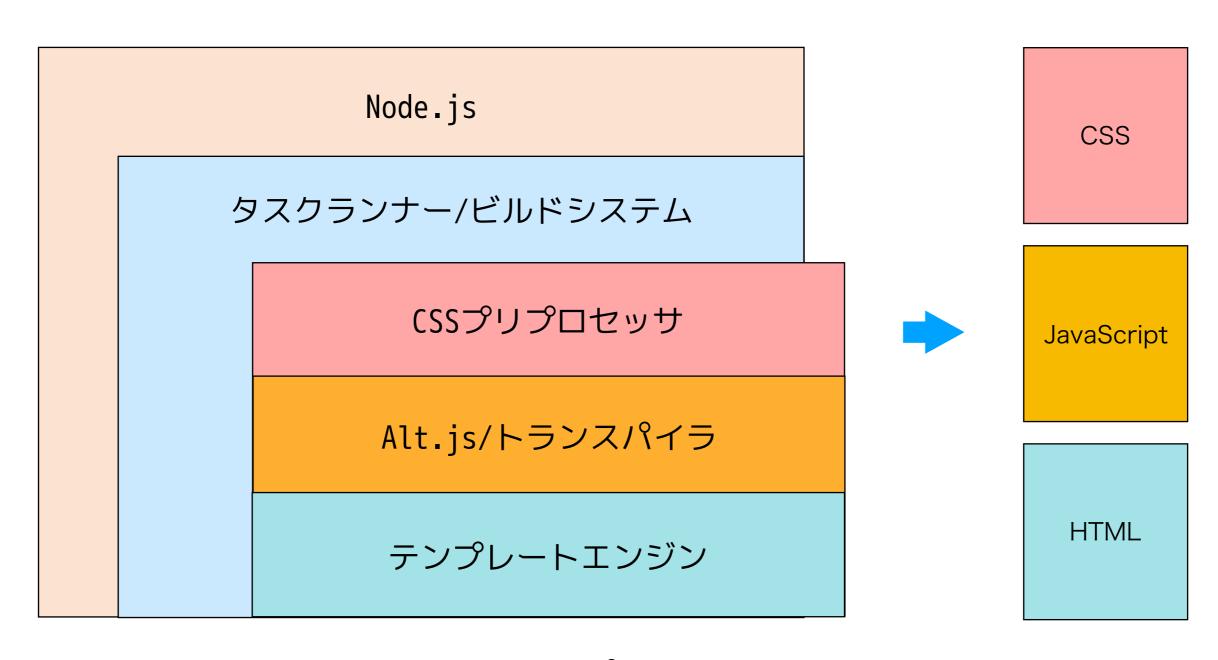
#### 最近のフロントエンド

フロントエンドエンジニアのアウトプットは昔から変わりませんが、



#### 最近のフロントエンド

それらは様々な方法で制作されています。



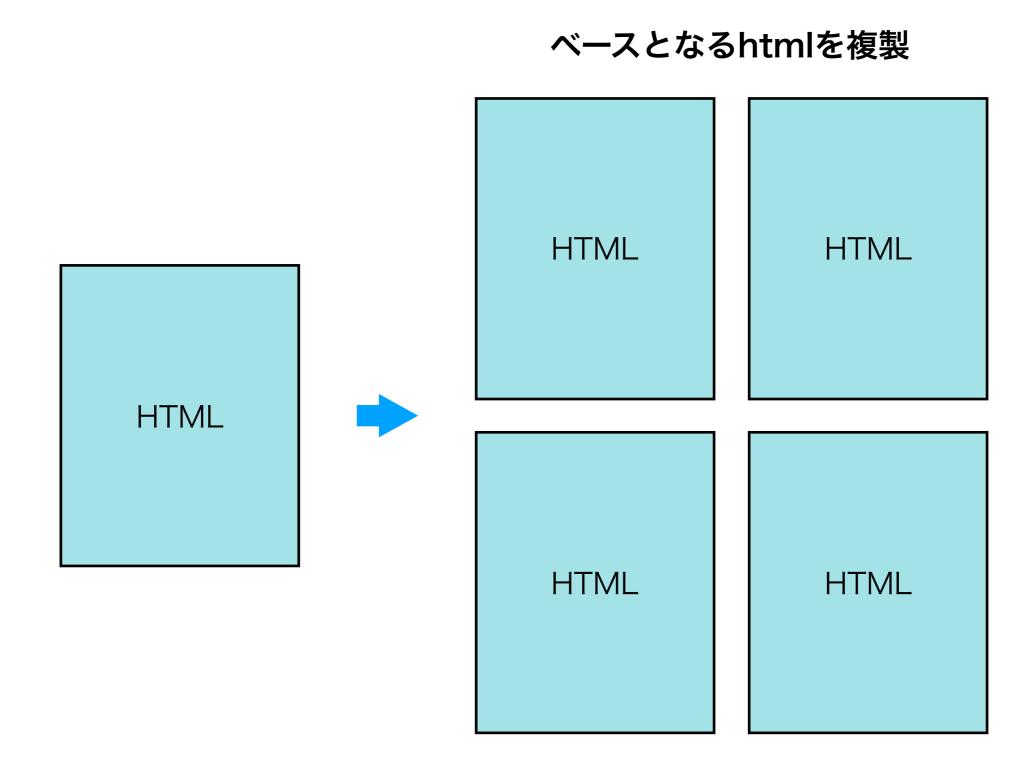
テンプレートファイルとデータから、 HTMLを生成(表示)させる技術の総称。

#### テンプレートエンジンについて

- サーバーでの動的出力
- ブラウザでの動的出力
- 静的HTMLファイルの出力

※今回は静的HTMLファイルの出力に絞ってお話いたします。

#### 旧来のHTMLの制作イメージ



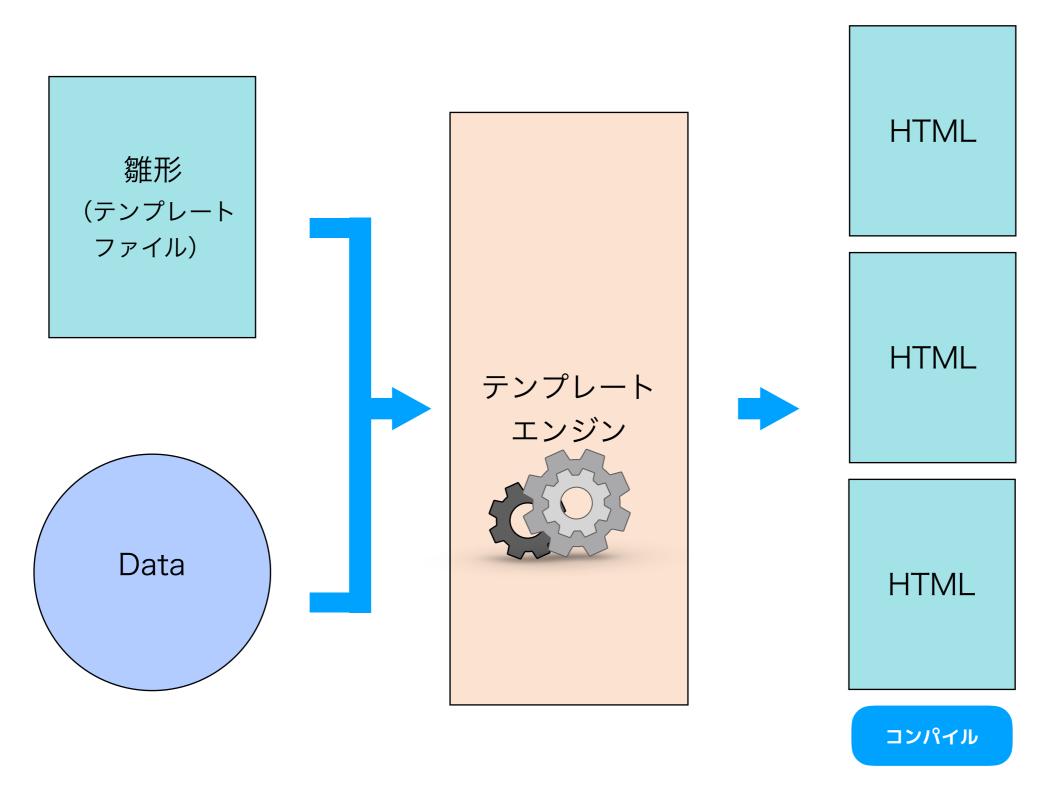
#### 旧来の問題

レイアウトを修正 = ページ全てを修正

同じ書式で内容が違う部分はコーディングで対応

複数ページ修正時のミス (ヒューマンエラー)

## テンプレートエンジンでの作成イメージ



#### テンプレートエンジンのメリット

変数・継承・インクルードなど便利機能が使える

共通部分を使いまわせる(パーツ化)

データをまとめて記述できる。(別ファイル化)

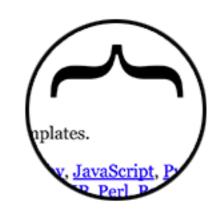


ミスを防げる/メンテナンスしやすい/作業効率UP

多くのテンプレートエンジンが存在し、それぞれ個性があり ます。メジャーなツールは下記になります。















#### htmlタグベースのテンプレートエンジン



#### 独自記法のテンプレートエンジン

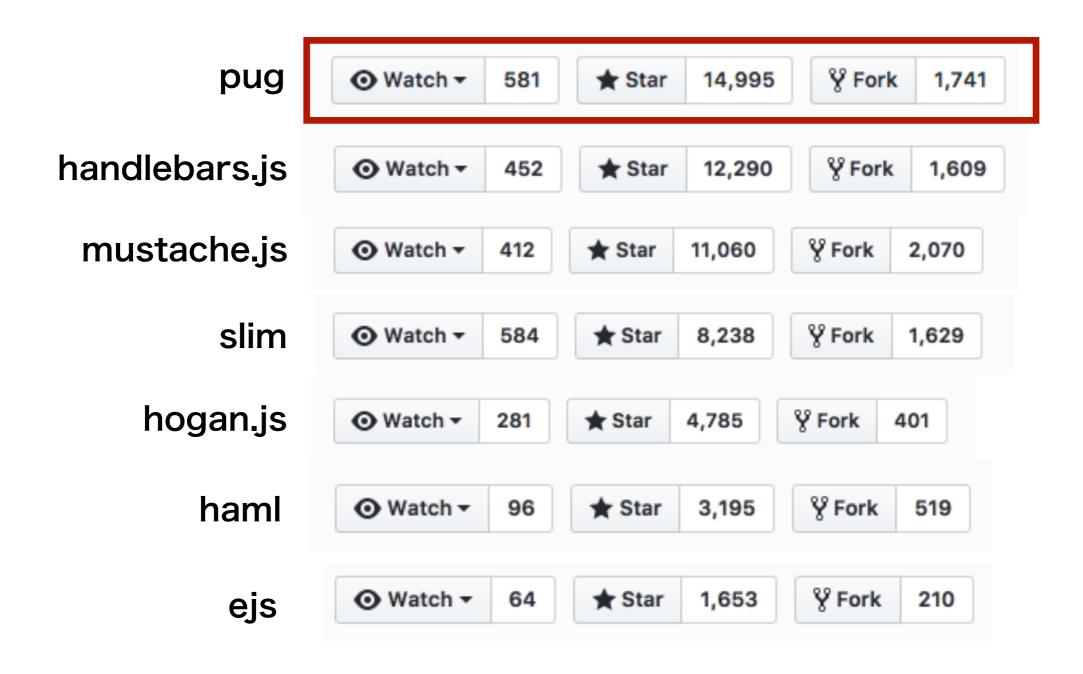


今回は「Pug」についてお話します。



#### テンプレートエンジンPug

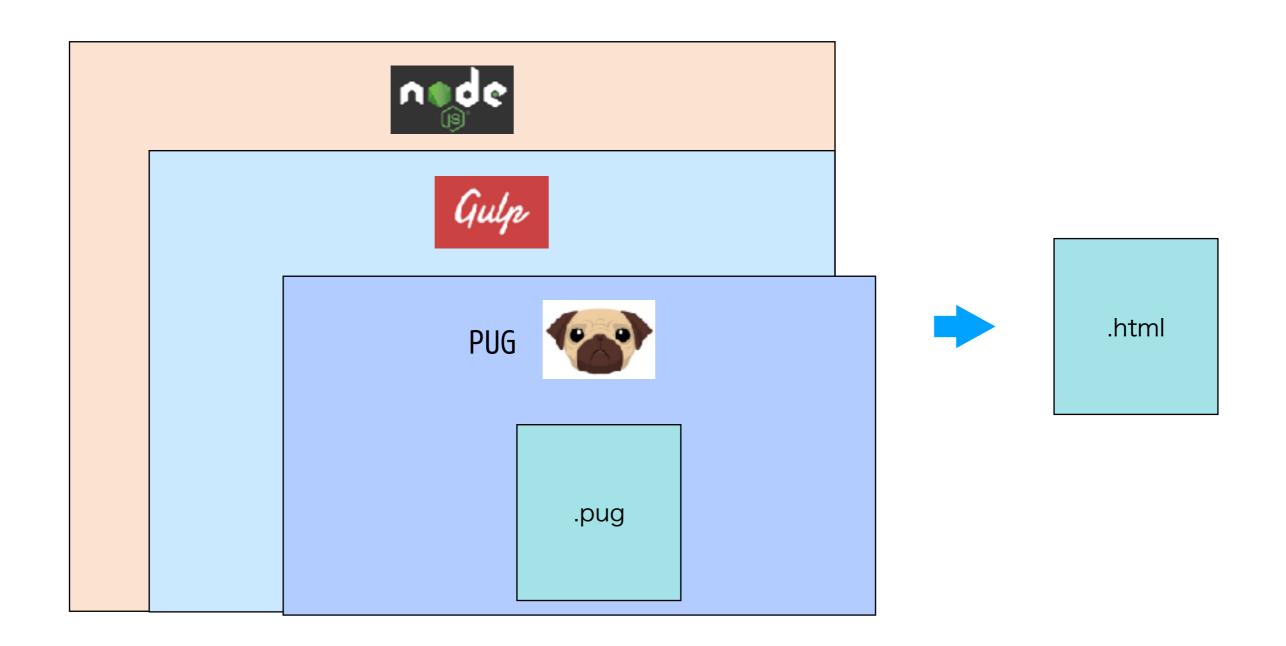
主要なテンプレートエンジンのgithub Star 降順



# Pugについて

#### Pugの特徴

- 以前はJadeという名称
- HTMLを簡単に書くためのHTMLを拡張したメタ言語
- 変数設定・継承・インクルードなどができる。
- pugファイル内でJavaScriptがつかえる。



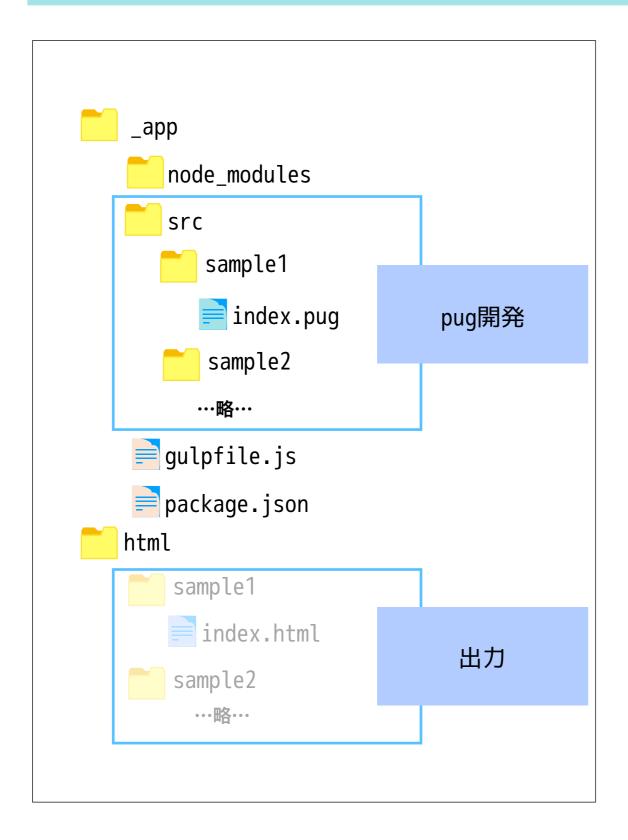
サンプルを用意しました。下記がリポジトリになります。

https://github.com/asaandyoru/html5exam\_docs

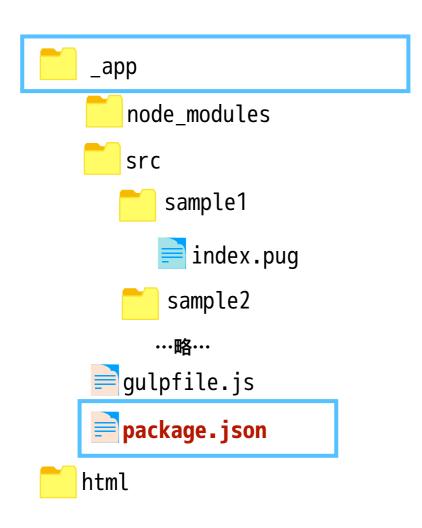
こちらから git cloneまたはダウンロードしてください。

※node.jsのインストールは割愛させていただきます。

## サンプルPug構成

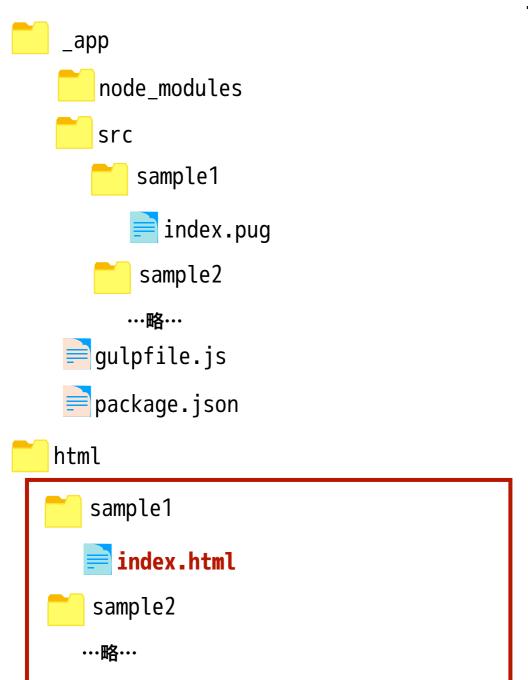


- 今回のサンプルの構成です
- /\_app/src/以下がpugの開発エリア
- /html/ 下 がドキュメントルート



package.jsonがある/\_appディレクトリからコマンド入力しインストールできます。

\$ cd html5exam\_docs/\_app
\$ npm install

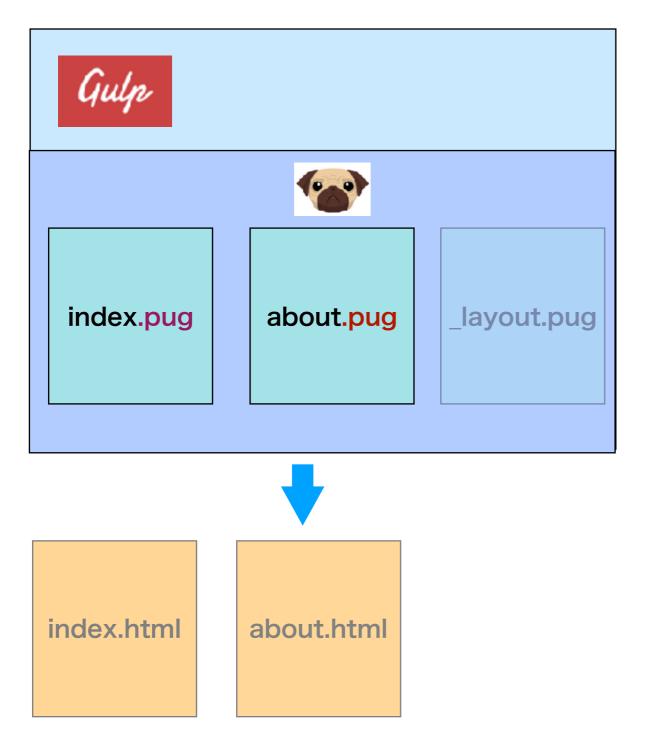


下記のコマンドを打つことでhtml ファイルが書き出されました。

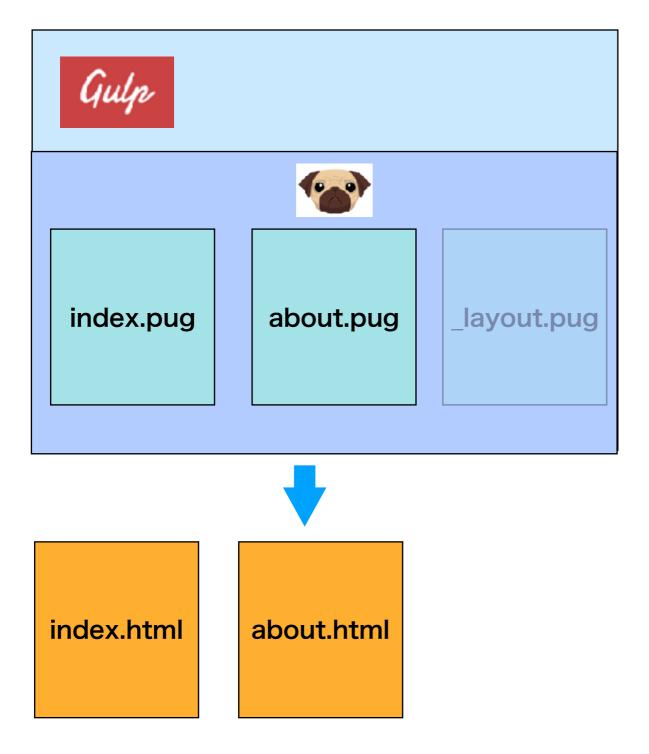
\$ npm run build

or

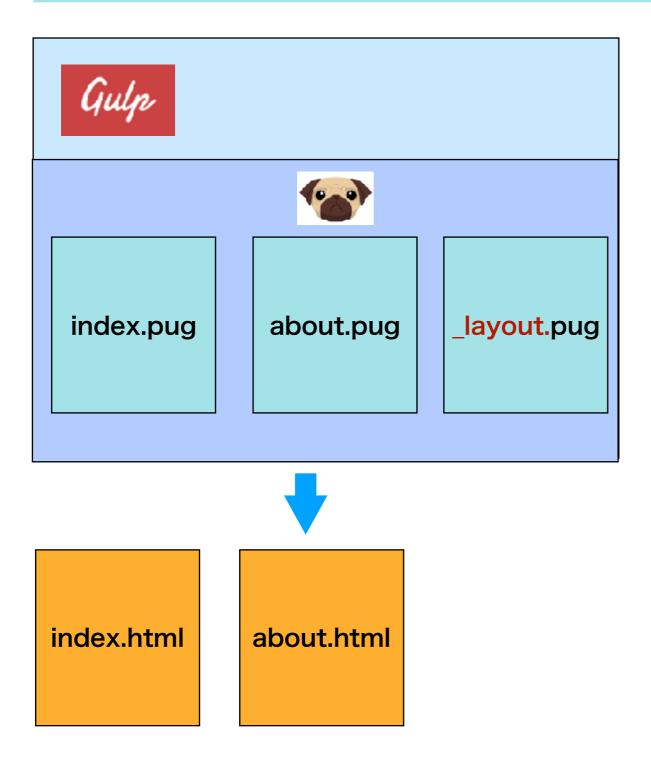
\$ gulp build



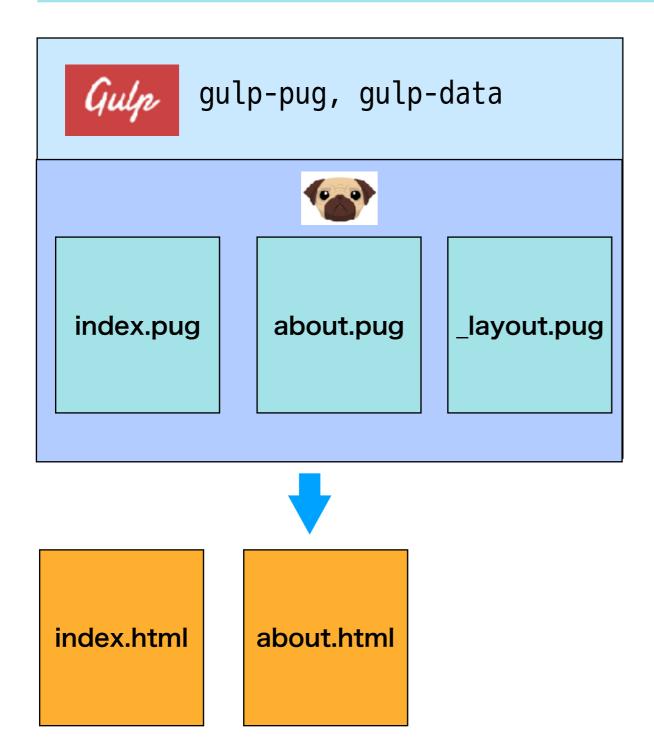
• 拡張子.pug



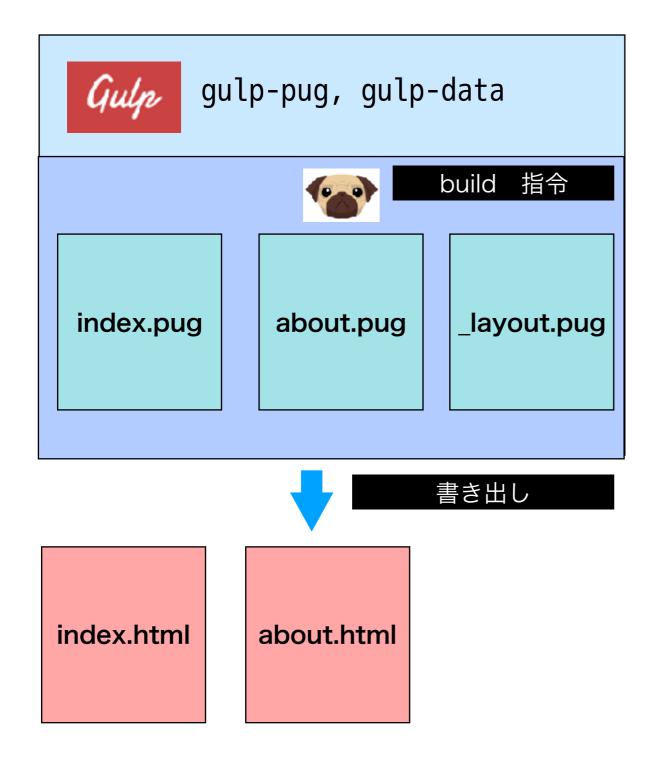
- 拡張子.pug
- 同じ名前の.htmlを出力



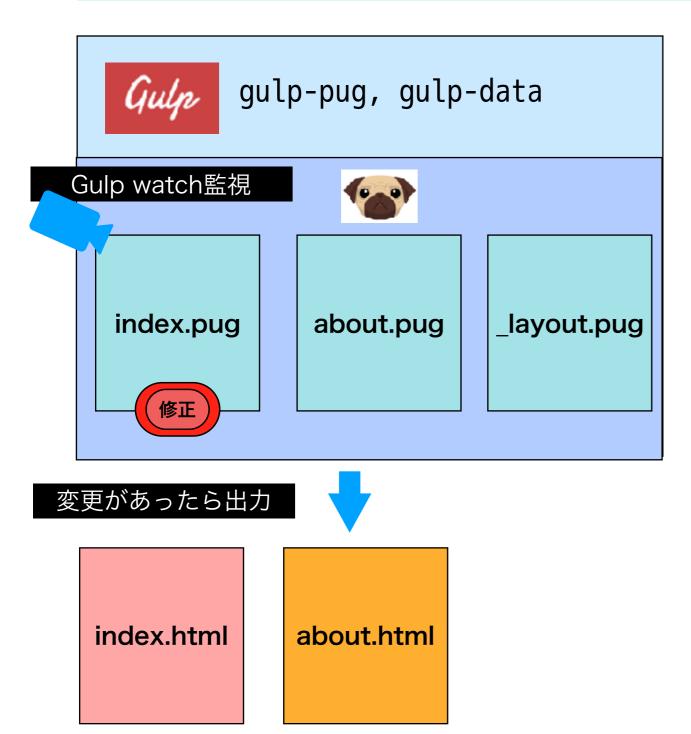
- 拡張子.pug
- 同じ名前の.htmlを出力
- 「\_」アンダースコア付きは書き出さ ない様にするのが普通



- 拡張子.pug
- 同じ名前の.htmlを出力
- 「\_」アンダースコア付きは書き出さ ない様にするのが普通
- gulp-pug,gulp-data moduleを使う。



- 拡張子.pug
- 同じ名前の.htmlを出力
- 「\_」パーシャル付きは書き出さない 様にするのが普通
- gulp-pug,gulp-data moduleを使う
- 全てを書き出すコマンドnpm run build または gulp build



- 拡張子.pug
- 同じ名前の.htmlを出力
- 「\_」パーシャル付きは書き出さない 様にするのが普通
- gulp-pug,gulp-data moduleを使う
- 全てを書き出すコマンドnpm run build または gulp build
- npm run watch または gulp watchコマンドで.pugの変更を監視し.htmlに出力

# Pugの基本

#### Pugの特徴 記法

```
doctype
html(lang="ja")
  head
    title Pug
  body
    h1 Pug Examples
    div.container
       a(href="/about.html")
           Pug example
```

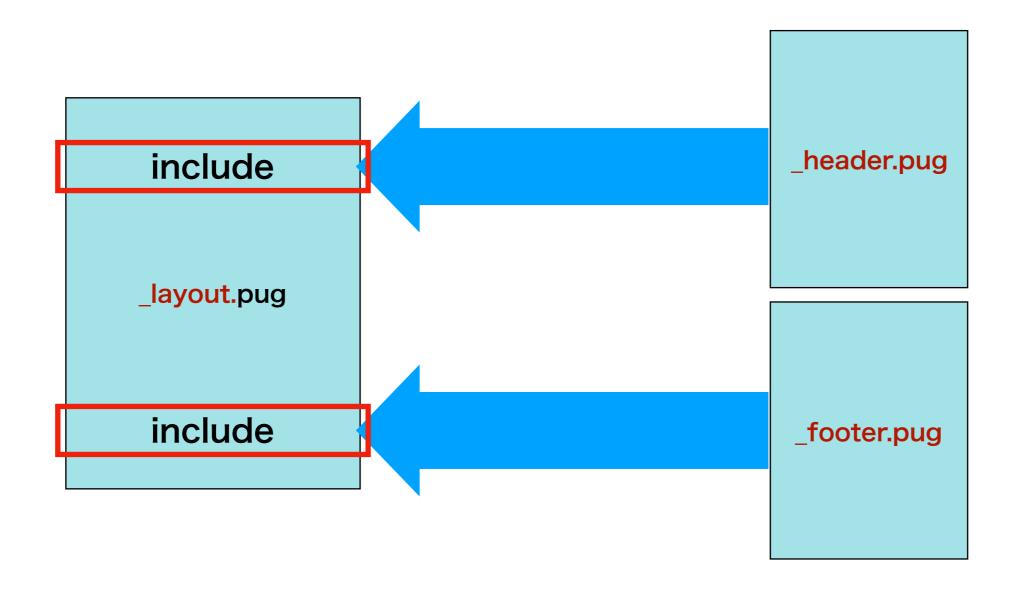
```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
  <head>
    <title>Pug</title>
  </head>
  <body>
   <h1>Pug Examples</h1>
    <div class="container">
      >
       <a href="/about.html">
         Pug example
      </a>
     </div>
  </body>
</html>
```

### Pugの特徴 変数

```
index.pug
                                                              /_app/src/sample2
head
   - var mytitle= "Pugの特徴";
   title= mytitle
index.html
                                                                 /html/sample2
 <head>
   <title>Pugの特徴</title>
 </head>
```

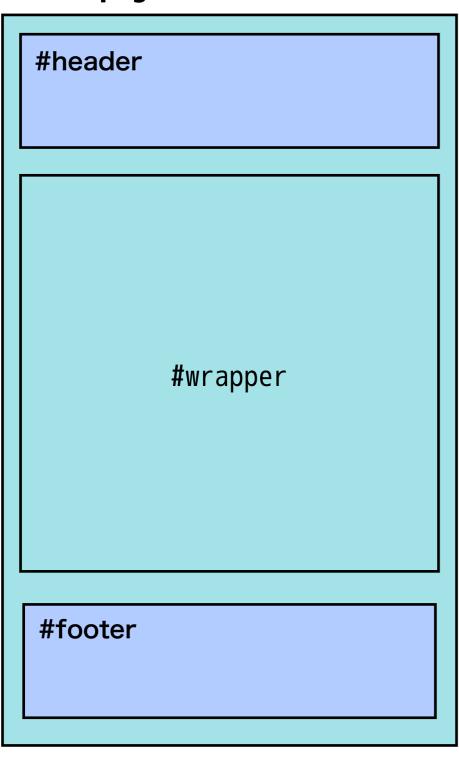
### Pugの特徴 インクルードとは

インクルードとは別ファイルに記述したソースコードを 読み込む機能です。



## Pugの特徴 インクルード

#### index.pug



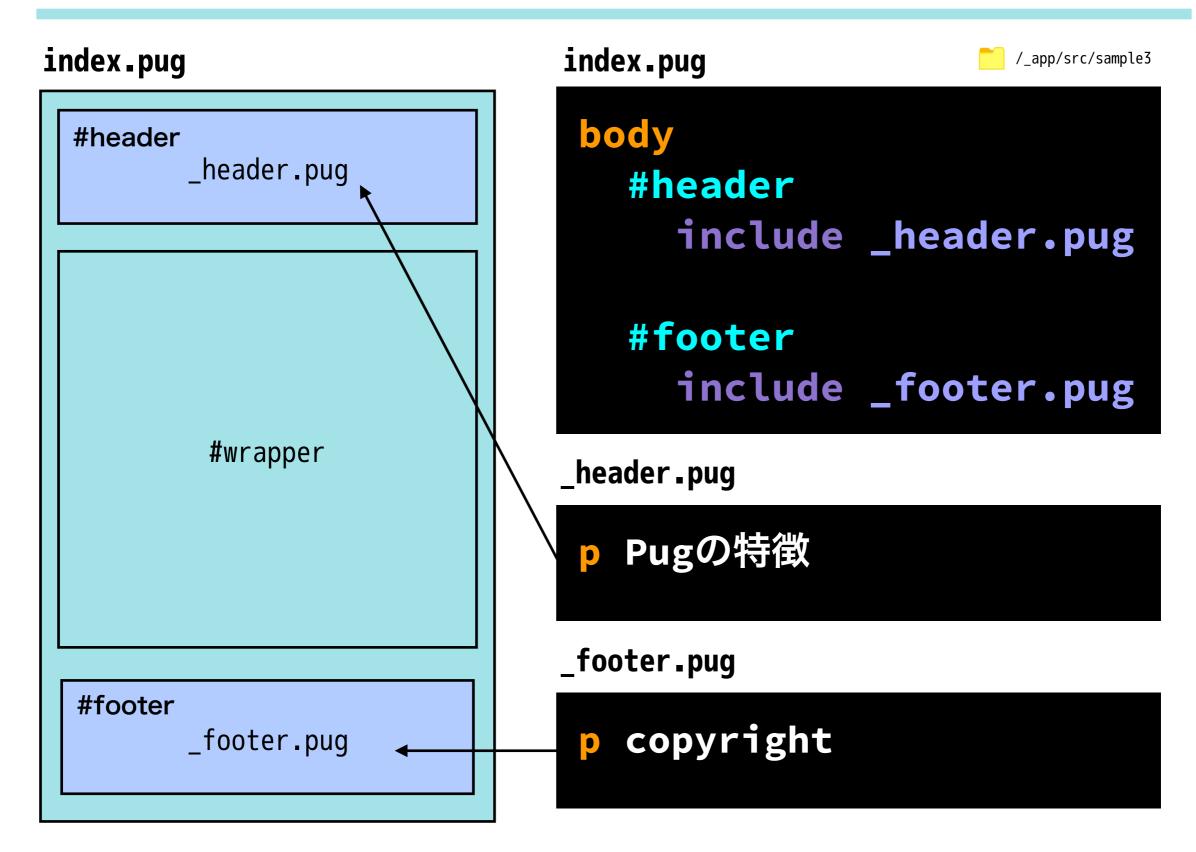
# index.pug body #header #footer

# Pugの特徴 インクルード

# index.pug #header \_header.pug #wrapper #footer

```
index.pug
                        /_app/src/sample3
body
   #header
      include _header.pug
   #footer
_header.pug
  Pugの特徴
```

# Pugの特徴 インクルード



# Pugの特徴 インクルード

### index.pug

```
#header
        _header.pug
          #wrapper
#footer
        _footer.pug
```

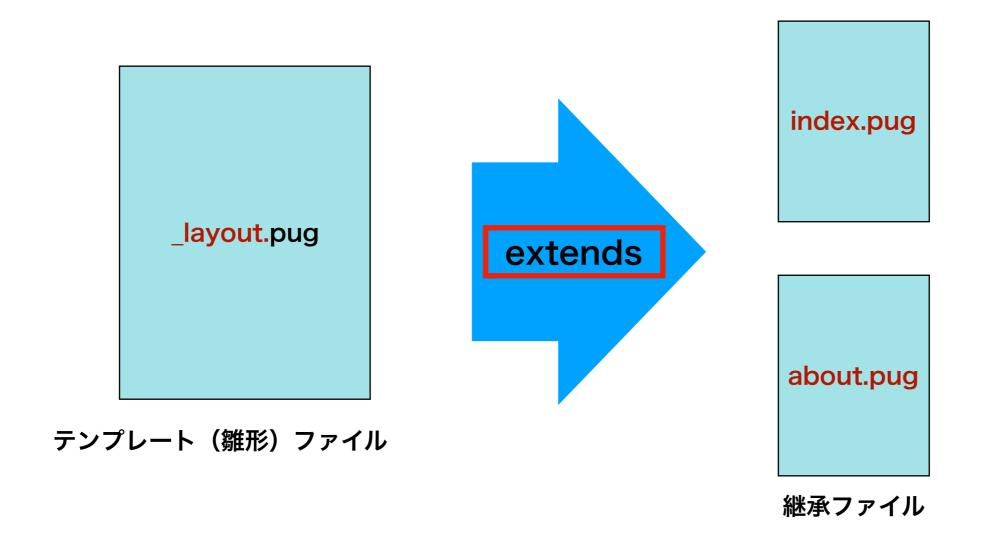
#### index.html

```
<br/>
<body>
<div id="header">
        Pugの特徴
</div>
<div id="footer">
        copyright
</div>
</body>
```

/\_app/src/sample3

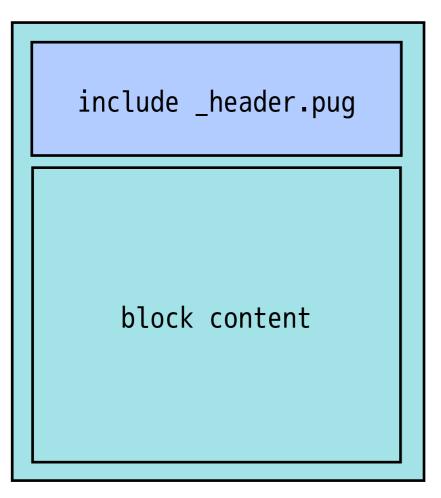
# Pugの特徴 継承とは

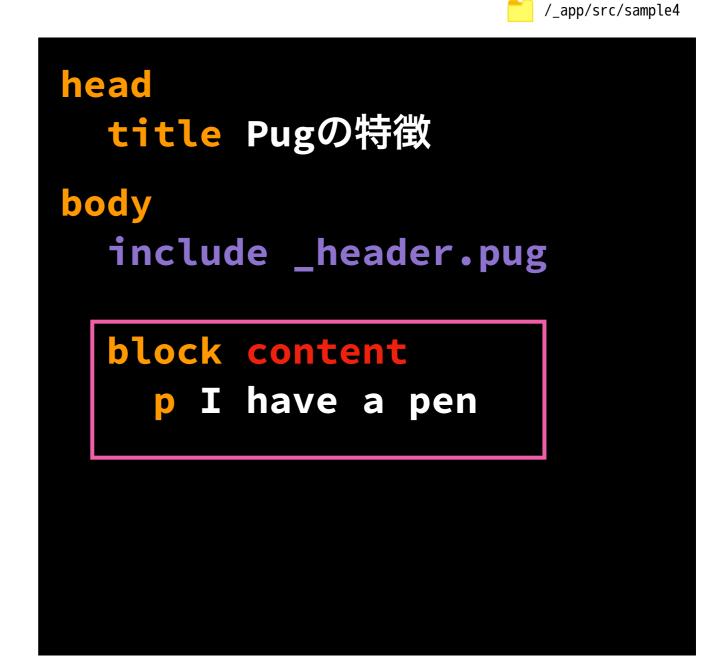
継承とはテンプレートのコードを活かしつつ、新規ファイルに あらたにコードを上書きしたり、書きかえたり、追加したりする機能



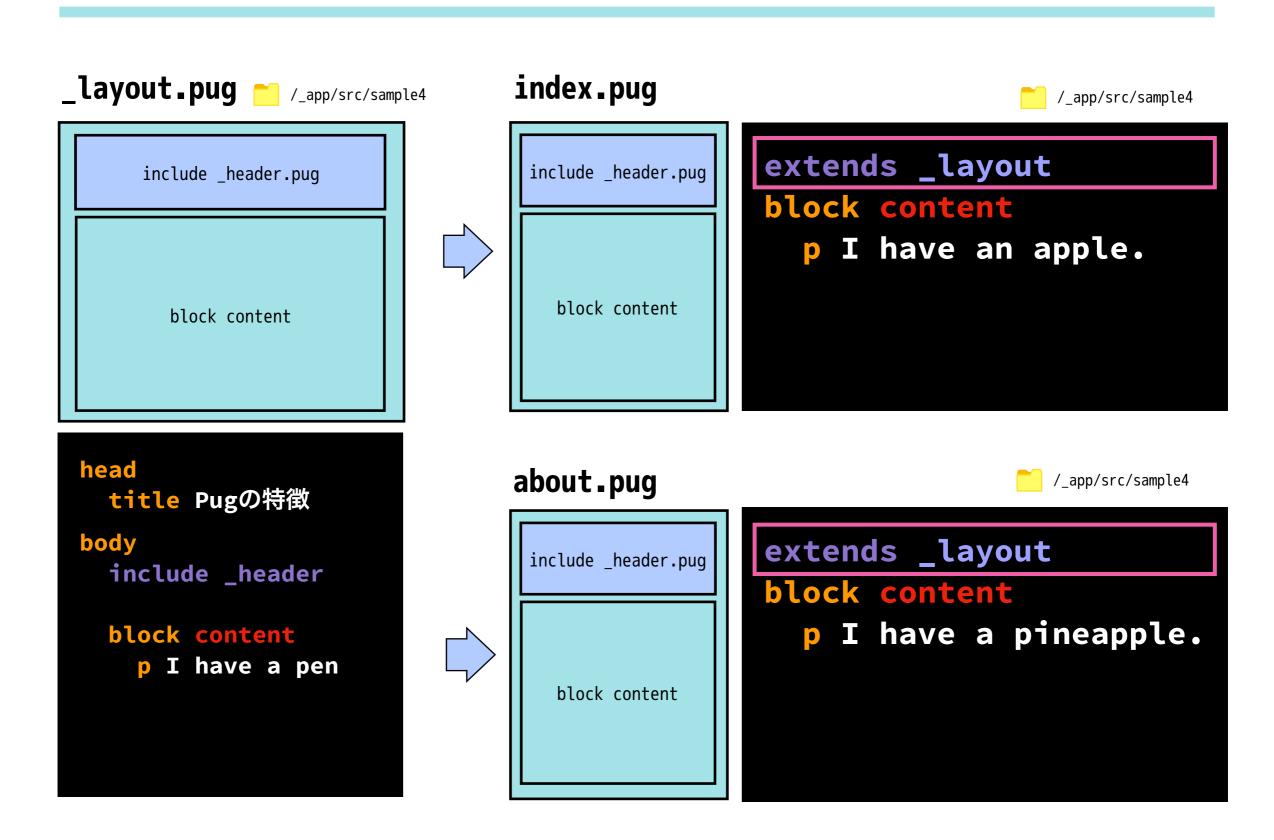
# Pugの特徴 継承 テンプレートファイル作成

### \_layout.pug

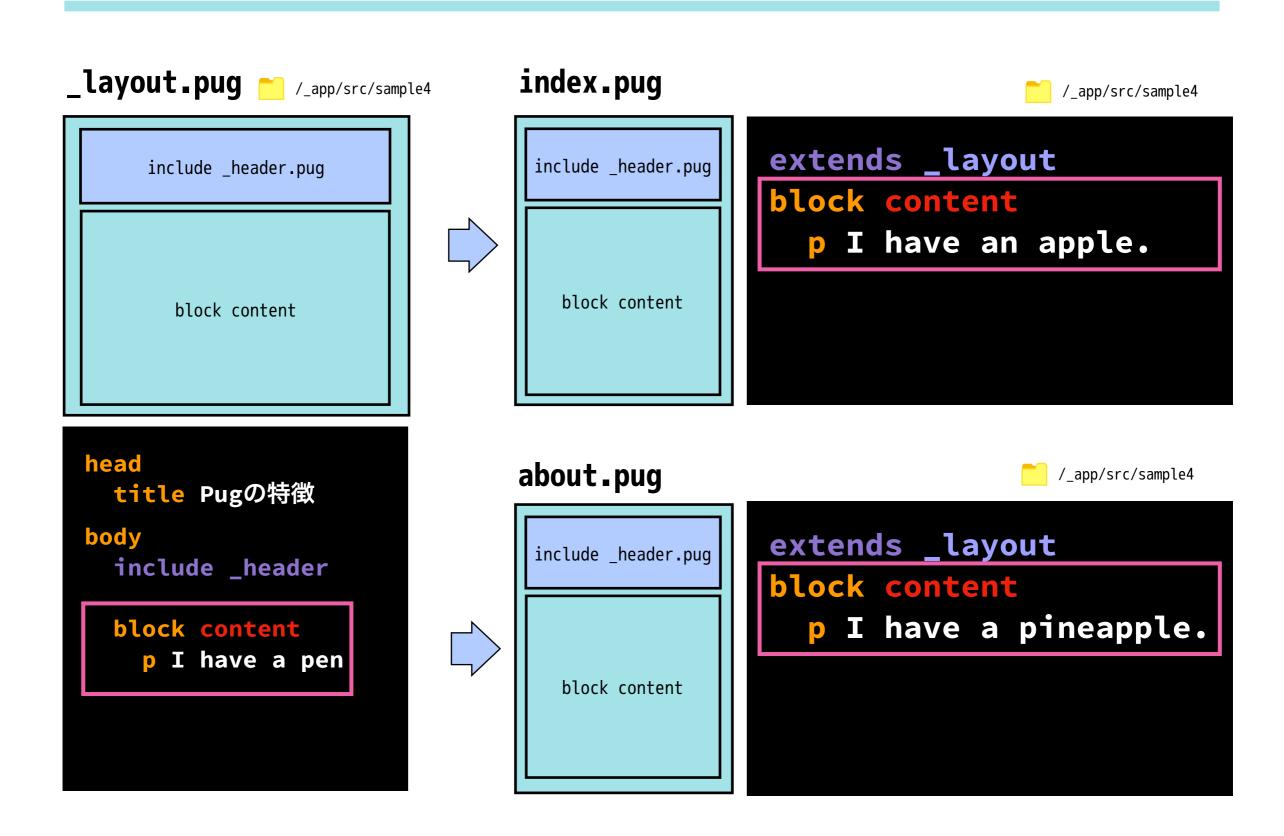




# Pugの特徴 継承



# Pugの特徴 継承



# Pugの特徴 継承



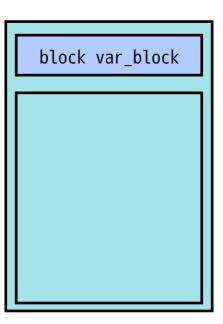
# Pugの特徴 まとめ

- タグを省略できる記述
- 変数が使える
- インクルードが使える
- 「extends」 と 「block」をつかうことで継承できる

今回は時間の関係上省略しますが mixinやloop処理などこの他にも強力なものもあります興味があれば調べてみてください。

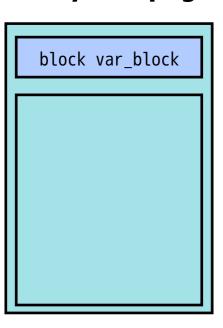
# Pug応用編

## \_layout.pug



```
デフォルトの変数設定
                                      /_app/src/sample5
//- default global var
 var title
                     = "デフォルトタイトル";
 var description .....= "デフォルトディスクリプション";
                     .=."デフォルトキーワード";
 var keywords
//- var override
block.var_block
doctype
html(lang="ja")
  head
   meta(charset="utf-8")
   meta(name="description", content=description)
   meta(name="keywords", content=keywords)
   title!=title
```

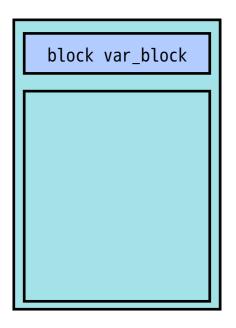
## \_layout.pug



```
デフォルトの変数設定
                                      /_app/src/sample5
//- default global var
 var title
                      = "デフォルトタイトル";
 var description .....= "デフォルトディスクリプション";
                      = "デフォルトキーワード";
 var keywords
//- var override
block var_block
                               変数用block
doctype
html(lang="ja")
 head
   meta(charset="utf-8")
   meta(name="description", content=description)
   meta(name="keywords", content=keywords)
   title!=title
```

#### /\_app/src/sample5

## \_layout.pug





#### index.pug

```
block var_block
```

```
//- default global var
- var title == "デフォルトタイトル";
- var description == "デフォルトディスクリプション";
- var keywords == "デフォルトキーワード";

//- var override
block var_block

doctype
html(lang="ja")
head
meta(charset="utf-8")
meta(name="description", content=description)
meta(name="keywords", content=keywords)
title!=title
```

```
extends _layout

block var_block
- title = "TOP タイトル";
- description = "TOP ディスクリプション";
- keywords = "TOP キーワード";
```

## ページ上部にまとめられているので管理しやすい

index .pug

xxx .pug

```
extends _layout

block var_block
- title = "TOP タイトル";
- description = "TOP ディスクリプション";
- keywords = "TOP キーワード";
```

.pug

xxx .pug

ただしページそれぞれにデータを入れる必要がある -> データを**外部ファイル**にまとめたい。

index .pug

xxx .pug

```
extends _layout

block var_block
- title = "TOP タイトル";
- description = "TOP ディスクリプション";
- keywords = "TOP キーワード";
```

.pug

xxx .pug

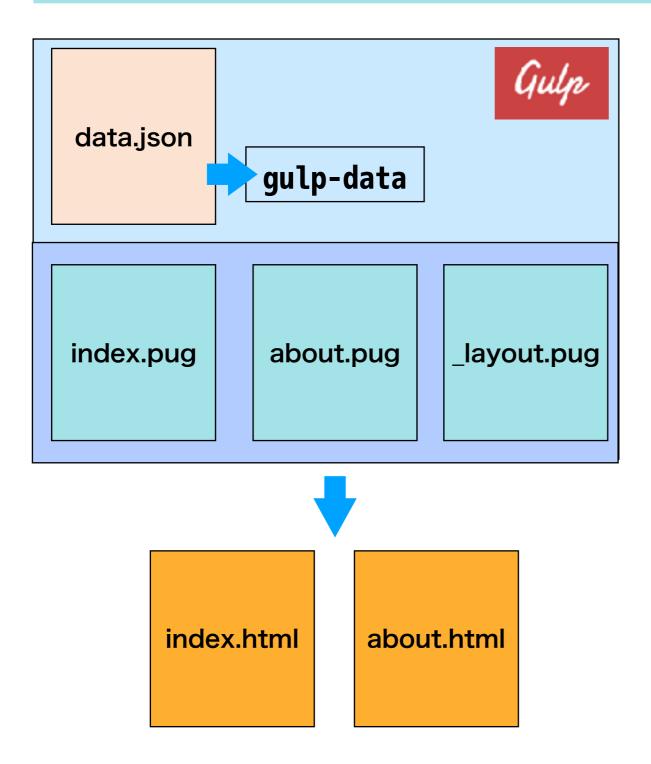
# Pug応用編 外部jsonファイルについて

```
/_app/src/data.json
"default" : {
 "og_url": "//www.fork.co.jp",
 "og title": "株式会社フォーク",
 "og image": "//www.fork.co.jp/img/og.png"},
"local": {
 "/sample6/index.html":{
  "title" : "TOP | 株式会社フォーク",
  "description":"TOPページ"
 "/sample6/about/index.html" :{
  "title" : "会社概要 | 株式会社フォーク",
  "description": "会社概要"
```

## Pug応用編 外部jsonのデータの持ち方を工夫する

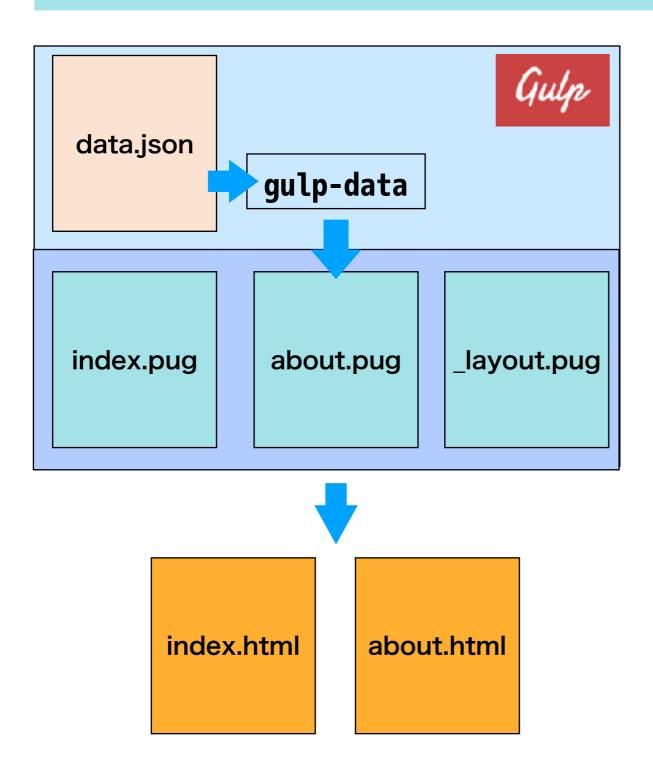
```
/_app/src/data.json
                                デフォルトを設定
"default" : {
 "og_url": "//www.fork.co.jp",
 "og title": "株式会社フォーク",
 "og image": "//www.fork.co.jp/img/og.png"},
"local": {
 "/sample6/index.html":{ 出力先のファイル名をキ
  "title" : "TOP | 株式会社フォーク",
  "description":"TOPページ"
 "/sample6/about/index.html":{ ファイル名をキー
  "title": "会社概要 | 株式会社フォーク",
  "description": "会社概要"
```

# Pug応用編 外部jsonを利用する



• gulp-data moduleを使う

# Pug応用編 外部jsonを利用する



- gulp-data moduleを使う
- gulp-dataから.pugのファイルパス と外部jsonファイルのデータを渡 しhtmlへ書き出す

# Pug応用編 外部jsonを利用する

```
- var title
                        = config.local.title;
- var description
                        = config.local.description;
                        = config.local.keywords;
- var keywords
                        = config.default.og_url;
- var og_url
- var og_title
                        = config.default.og_title;
                        = config.default.og_image;
- var og_image
block var_block
doctype
html(lang="ja")
  head
    title=title
    meta(name="description", content=description)
   meta(name="keywords", content=keywords)
   meta(property='og:url', content=og_url)
    meta(property='og:title', content=og_title)
   meta(property='og:image', content=og_image)
  body
```

# Pug応用編 オンラインデータ管理

オンラインでデータ管理するメリット

# Pug応用編 オンラインデータ管理

オンラインでデータ管理するメリット

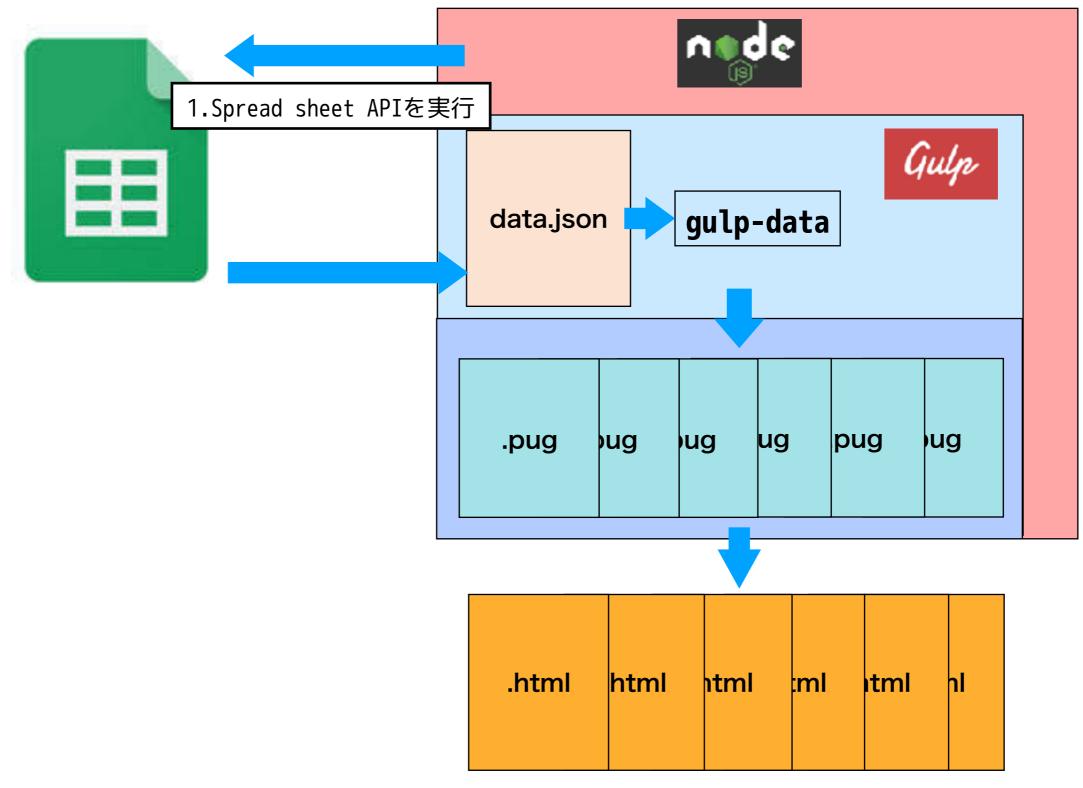


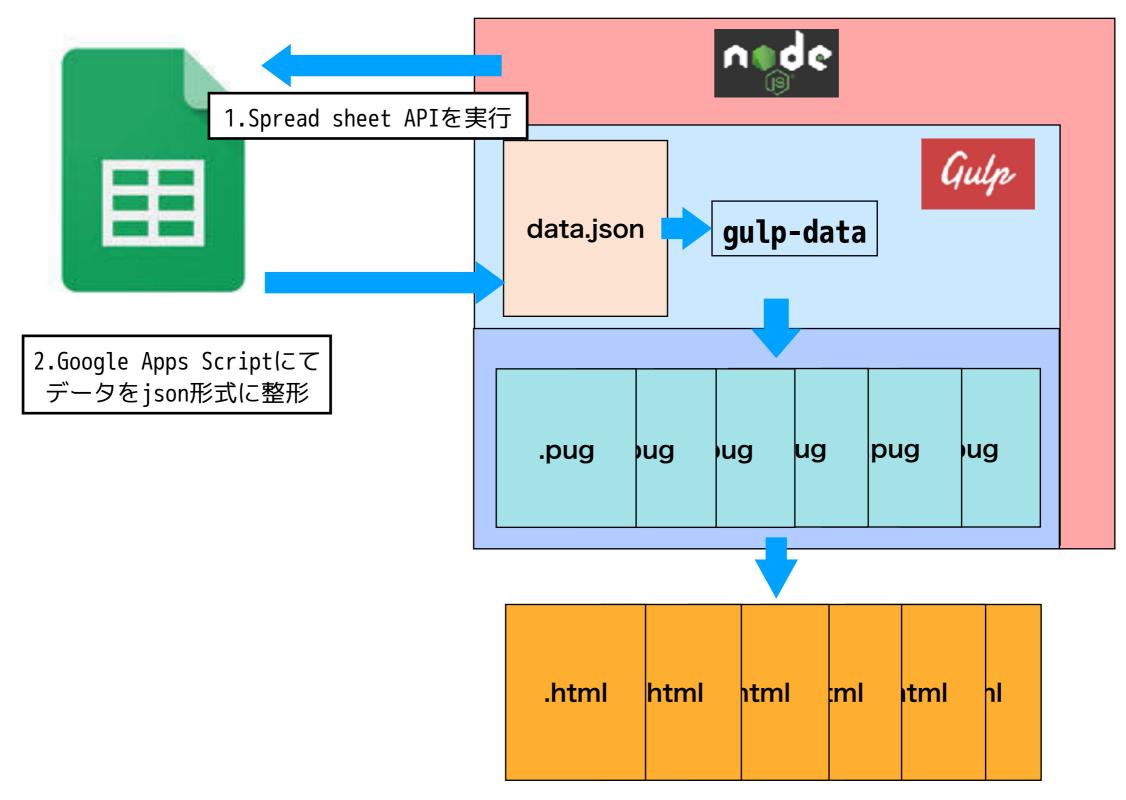
オンラインで情報を一元管理することで、 ディレクター・デザイナーなどスタッフのだれでも編集できそのままhtml作成に利用できる。

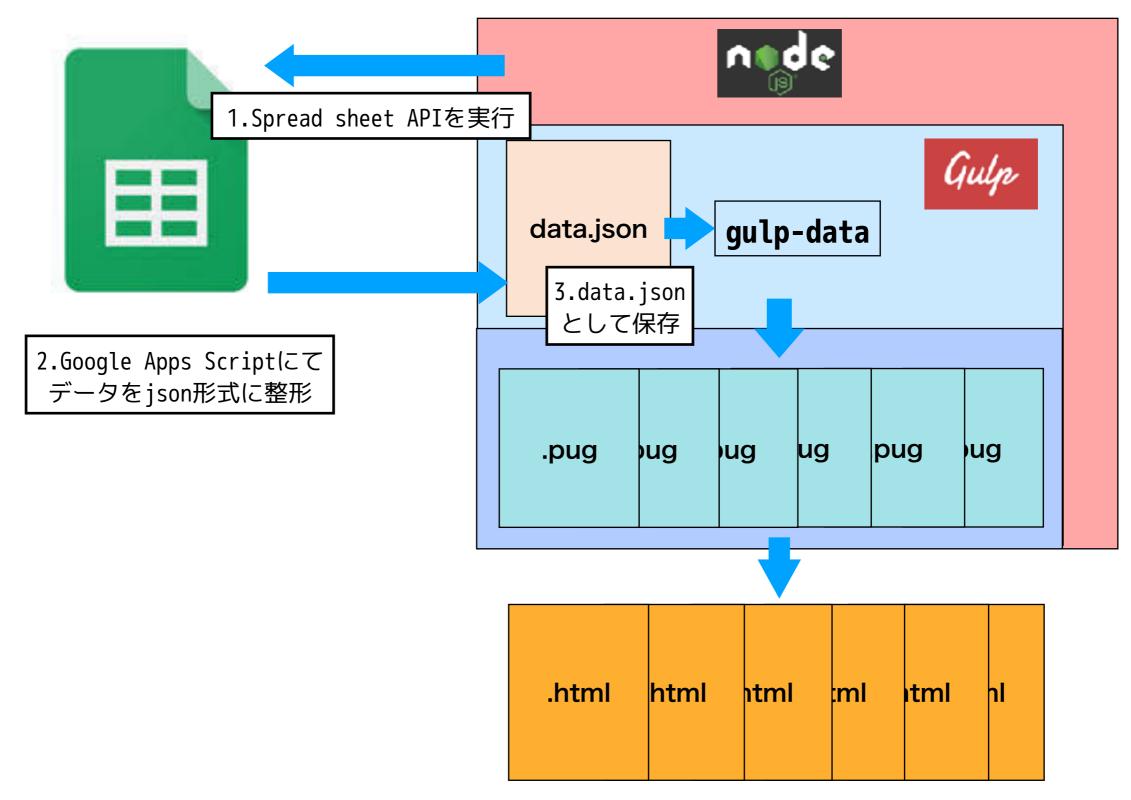


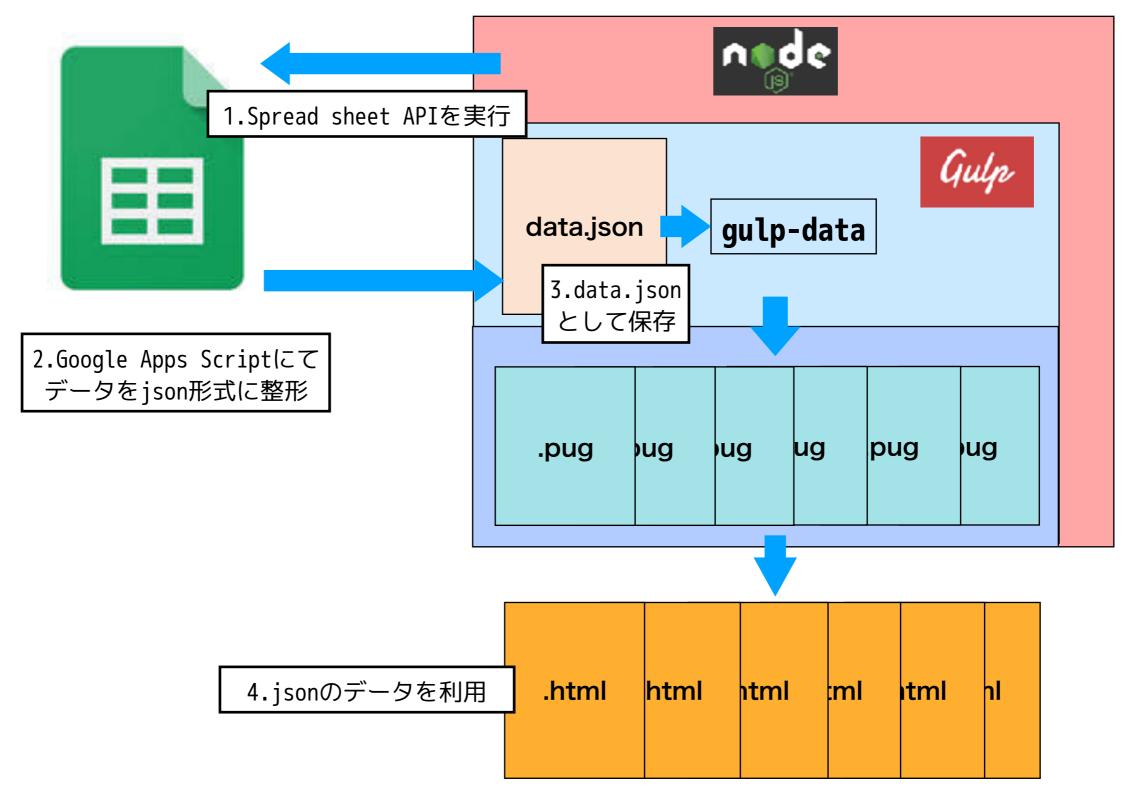
## Google Spreadsheet

- ・オンラインで編集可能
- ·Google Apps Script ->json形式に整形可









## 参考:

Create a Target Project for the Apps Script Execution API <a href="https://developers.google.com/apps-script/guides/rest/quickstart/target-script">https://developers.google.com/apps-script/guides/rest/quickstart/target-script</a>

【GAS】スプレッドシートのデータをJSON出力する関数を Execution APIで外部のNode.jsから実行する

http://qiita.com/kingpanda/items/8e60a64dc2454f6ae6b5

# Pugの応用 まとめ

- 変数をページの上部にまとめて書くと管理しやすい
- 外部ファイル化することでデータをまとめて管理できる
- スプレッドシートを使えばオンライン上でデータを管理 できる。

# 事例の紹介

## 事例の紹介

#### 製品統合サイトリニューアル

ページ数	170p	フロント エンド	4名
製作期間	1.5ヶ月	担当	デザイン・フロントエンド

- インクルードファイルを細かく設定し並行して制作
- データはスプレッドシートで管理
  - title/keyword/薬事承認番号・リコメンドバナー

リニューアル後の運用対応

## 事例の紹介

#### 金融系サイトリニューアル

ページ数	210p	フロント エンド	4名
製作期間	3ヶ月	担当	フロントエンド・CMS

• パンくずリストをスプレッドシート管理

pugにパスとjsonがわたせれば、ディレクトリの親子関係から パンくずリストが作成できます。たとえディレクトリ構造と合わないケース であってもjsonにタイトルと自身の親が渡せればリストを作成できます。

#### ホーム > XXについて > XXの取り組み

- index.html
- /about/index.html
- /csr/view/index.html

## 最後に

今回はテンプレートエンジンのPugにフォーカスしましたが、Pug以外のテンプレートエンジンもほぼ変わらない機能と使い方ができるはずです。

今後の静的HTMLの作成の際はぜひ取り入れてみてください。

# 質問

ご静聴 ありがとうございました。